



かけはし

長沢中たより

平成30年3月7日(水)

No. 5

校長 吉川和良

学校教育目標：自己を高め 他を思いやり 自立できる生徒を育てる (元気ができる学校)

学校評価アンケート

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。詳細は「平成29年度 長沢中学校 学校評価報告」にてお知らせします。

肯定的な回答(よくあてはまる・ややあてはまる)

生徒 質問内容	よくあてはまる	ややあてはまる
長沢中は落ち着いた学校である	16%	47%
長沢中はいじめや暴力のない学校である	30%	44%
長沢中は悩みにのってくれる学校である	29%	42%
長沢中はルールを守るよう指導している学校である	49%	40%
長沢中は授業が分かりやすい学校である	21%	47%
長沢中は行事が充実している学校である	22%	16%

*質問内容見直しのため、過年度との比較はありません。

%は肯定的な回答の割合

保護者 質問内容	27年度	28年度	29年度
学校は地域に開かれた学校づくりに努めている	88%	91%	91%
お子さんは意欲的に行事に取り組んでいる	87%	93%	92%
お子さんは学習に意欲的に取り組んでいる	63%	72%	69%
教員は授業改善・わかりやすい授業に努めている	67%	72%	65%

今年度から学校評価の趣旨を踏まえ、生徒向けの質問内容の見直しを行いました。全ての質問において、半数以上が肯定的な回答でしたが、表のとおり「よくあてはまる」の割合が少なく、生活面・学習面ともに課題が残る結果になりました。特に「落ち着いた学校」、「わかる授業」については、一層の向上が求められています。今年度の教師側の年間反省においても「生徒の主体的・自主的な活動の充実」や本校の研究テーマである「授業におけるグループ学習と家庭学習の充実」について、今後も一層の取組が必要

であるという共通理解をしました。結果を真摯に受け止め、次年度に繋げていきたいと思ひます。

また、今年度も「学校行事の充実」については、生徒・保護者から高い評価を得ることができました。これからも、協調性や責任感を育みながら達成感や学級への所属感を味わえる行事にしていきたいと思ひます。

卒業に向けて

3月9日(金)第33回卒業証書授与式において、150名の生徒が本校を巣立ちます。9年間の義務教育を終え、それぞれが選んだ道をこれから歩いていきます。その道は、常に順風満帆ということではなく、辛いことや悲しいこともあるでしょうがしっかりと乗り越えていくことを願っています。

先日まで行われていた平昌(ピョンチャン)オリンピックでは、連日熱戦が繰り広げられ、多くの感動的なシーンが報道されました。その中で、私の心に強く残ったのは女子スキージャンプ高梨沙羅選手です。4年前のソチオリンピックでは、それまでの大会で圧倒的な強さを見せていた彼女は「金メダル確実」と言われながら第4位。メダルすら取れない結果に終わりました。当時まだ17歳の彼女はどのような気持ちで結果を受け止めたのでしょうか。また、それから4年間どのような思いで練習し、飛び続けたのでしょうか。私たちは簡単に「トラウマ」という言葉を使いますが、そんな言葉を当てはめられない、自分自身の心との壮絶な戦いがあったのではないのでしょうか。それらを乗り越えた彼女に心の底から拍手を送りました。

最後に、平成29年度長沢中たより「かけはし」の拙文にお付き合いいただき、ありがとうございました。多くの方のご支援に感謝し、厚くお礼申し上げます。